

### Ⅲ 調査の結果と分析

#### 1. まちづくりの現状評価

問1 南魚沼市では、平成28年度に策定した「第2次南魚沼市総合計画」により6つの政策分野ごとにまちづくりを進めています。

あなたは、それぞれについて十分に取組が進められていると思いますか。(それぞれ1つずつ選択)

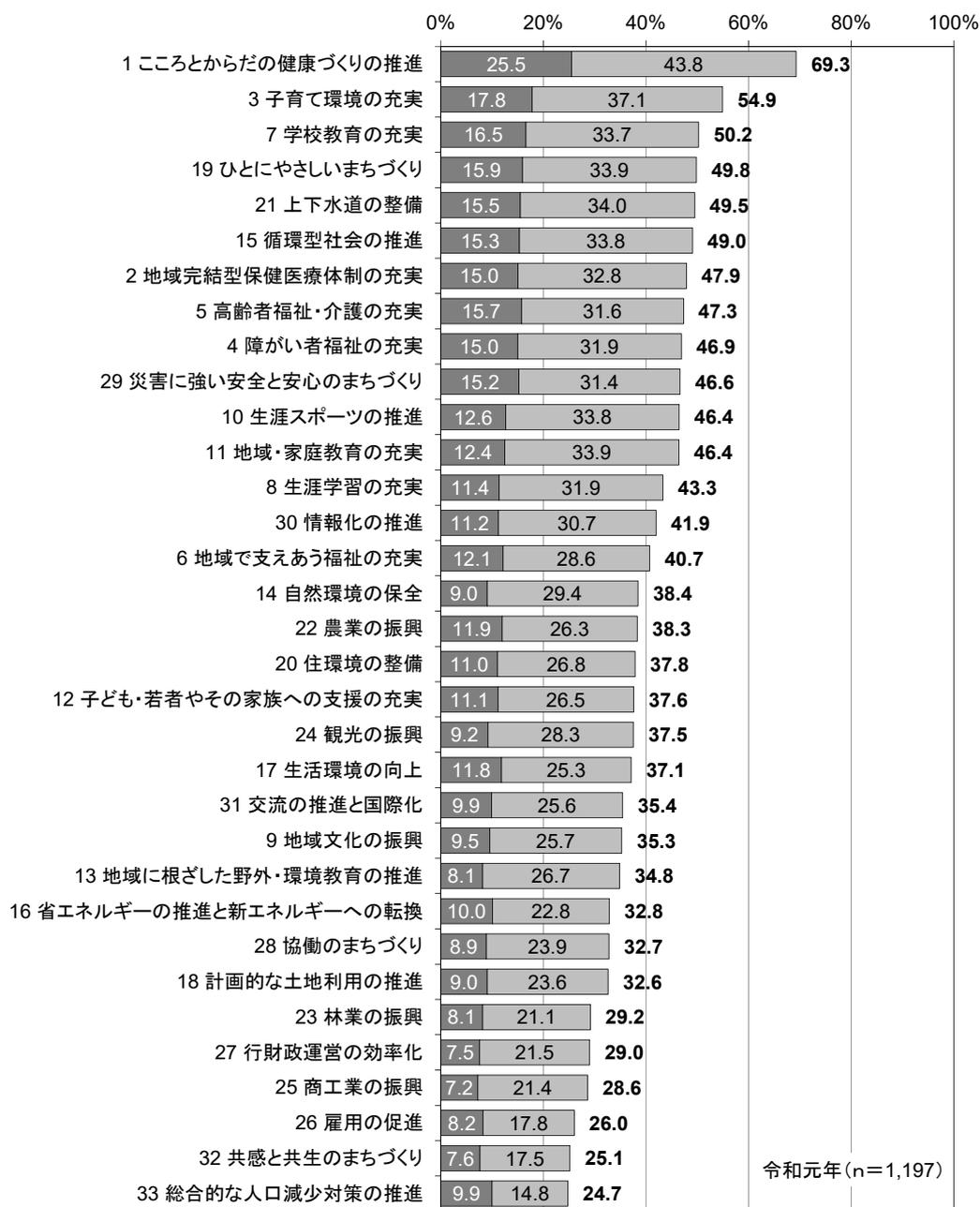
- 「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高い
- 「総合的な人口減少対策」の評価が最も低い
- 「健康づくり」の評価が高い傾向は過去2回の調査と同様
- 前回調査からの変動が大きいのは「上下水道の整備」「地域・家庭教育の充実」で、「上下水道の整備」は低く、「地域・家庭教育の充実」は高くなっている

「そう思う」は「1 こころとからだの健康づくりの推進」(25.5%)が最も高く、33項目の中で唯一2割以上となっています。

「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計値『思う』を見ると、「1 こころとからだの健康づくりの推進」(69.3%)が約7割で最も高く、次いで「3 子育て環境の充実」(54.9%)、「7 学校教育の充実」(50.2%)の2項目がそれぞれ5割以上となっています。一方、「33 総合的な人口減少対策の推進」(24.7%)が最も低くなっています。

過去の調査とは項目によって項目名の表現が大きく異なるため、参考として見てみると、過去2回の調査でも合計値『思う』は「健康づくり」に関する項目が最も高くなっています。また、前回と比較して、「21 上下水道の整備」と「11 地域・家庭教育の充実」の変動が大きく、「21 上下水道の整備」(49.5%)は前回(60.6%・選択肢表現同じ)から約11ポイント低く、「11 地域・家庭教育の充実」(46.4%)は前回(32.7%・選択肢表現同じ)から約14ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果と分析 1. まちづくりの現状評価



■ そう思う □ どちらかというと思う

※ 「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』(太数字)が高い順に表示

※ 項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※ 小数点第1位までを表示しているため、内訳と合計値『思う』(太数字)が一致しない場合がある

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか(それぞれ1つずつ選択)

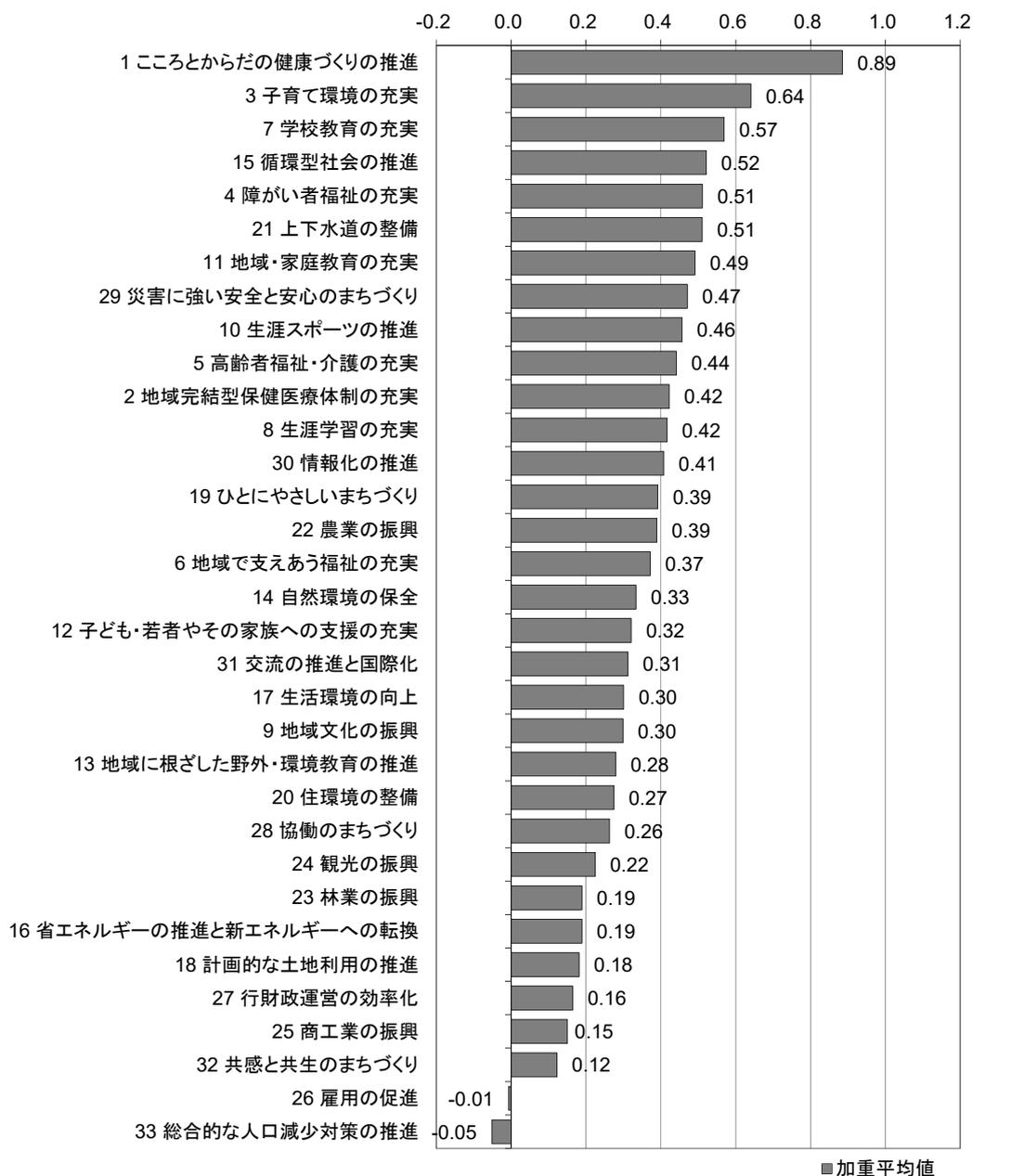
【参考】まちづくりの現状評価 取り組みが進められていると思うか\_合計値『思う』（経年比較）

令和元年(n=1,197)	%	平成 26 年(n=1,029)	%	平成 24 年(n=1,121)	%
1 ころからだの健康づくりの推進	69.3	健康づくりと予防医療の推進	74.3	健康づくりと予防医療の体制が充実したまち	64.6
3 子育て環境の充実	54.9	子育て支援の充実	57.3	子育て支援が充実したまち	47.5
7 学校教育の充実	50.2	学校教育の充実	51.2	学校の教育内容や施設整備が充実したまち	42.0
19 ひとにやさしいまちづくり	49.8	ひとにやさしいまちづくり	50.6	バスなどの公共交通が利用しやすいまち	32.9
21 上下水道の整備	49.5	上下水道の整備	60.6	上下水道・浄化槽や排水施設などが整備されたまち	57.4
15 循環型社会の推進	49.0	循環型社会の創造	52.5	ごみの減量化やりサイクルが進んだまち	48.1
2 地域完結型保健医療体制の充実	47.9	地域完結型保健医療体制の構築	51.2	医療機関が利用しやすいまち	43.5
5 高齢者福祉・介護の充実	47.3	高齢者福祉の充実	52.5	高齢者福祉が充実したまち	45.3
4 障がい者福祉の充実	46.9	障がい者福祉の充実	48.6	障がい者福祉が充実したまち	36.3
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	46.6	災害に強い安全と安心のまちづくり	43.4	防災体制が整備された災害に強いまち	33.8
10 生涯スポーツの推進	46.4	生涯スポーツの推進	46.2	誰もがスポーツに親しめるまち	31.7
11 地域・家庭教育の充実	46.4	地域・家庭教育の充実	32.7	家庭の教育力向上や地域に密着した教育が進んだまち	24.2
8 生涯学習の充実	43.3	生涯学習の充実	41.9	公民館や図書館など生涯学習の機会や施設が充実したまち	31.0
30 情報化の推進	41.9	高度情報化の推進	27.9	情報通信ネットワークが整備されたまち	18.8
6 地域で支えあう福祉の充実	40.7	地域福祉の推進	41.7	地域福祉が盛んなまち	32.5
14 自然環境の保全	38.4	自然環境の保全と活用	32.6	自然環境の保全・活用が進んだまち	26.0
22 農業の振興	38.3	農業の振興	34.7	農業が盛んなまち	57.5
20 住環境の整備	37.8	住環境の整備	41.8	安心・快適な住宅・住環境が整備されたまち	31.7
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	37.6	-	-	-	-
24 観光の振興	37.5	観光の振興	38.9	観光が盛んなまち	31.0
17 生活環境の向上	37.1	生活環境の向上	32.8	地盤沈下や悪臭、騒音等、公害への対策が充実したまち	21.1
31 交流の推進と国際化	35.4	交流の推進	28.4	他都市・地域との交流や国際交流が盛んなまち	23.1
9 地域文化の振興	35.3	地域文化の振興	37.2	地域の文化や伝統の保護・継承・活用が盛んなまち	32.1
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	34.8	野外・環境教育の推進	31.4	環境教育や環境活動が盛んなまち	20.6
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	32.8	省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	27.1	省エネルギーや新エネルギーの活用が進んだまち	14.1
28 協働のまちづくり	32.7	市民主体のまちづくり	33.0	市民主体のまちづくり活動が盛んなまち	21.9
18 計画的な土地利用の推進	32.6	計画的な土地利用の推進	33.4	自然環境と都市環境の均衡・調和がとれたまち	28.7
23 林業の振興	29.2	林業の振興	24.6	林業が盛んなまち	15.7
27 行財政運営の効率化	29.0	行財政運営の効率化	25.0	効率的な行財政運営がされているまち	17.9
25 商工業の振興	28.6	商工業の振興	28.5	商工業が盛んなまち	15.4
26 雇用の促進	26.0	雇用の促進	22.8	雇用対策が充実したまち	11.9
32 共感と共生のまちづくり	25.1	共感と共生のまちづくり	25.6	人権尊重や男女共同参画の意識が高いまち	17.0
33 総合的な人口減少対策の推進	24.7	-	-	-	-

※各年とも「そう思う」「どちらかというと思う」の合計値『思う』で、令和元年の値が高い順に表示  
 ※各年で表現が異なる項目は、同様の内容の項目を当てはめて整理。「12 子ども・若者やその家族への支援の充実」「33 総合的な人口減少対策の推進」は新規項目

各項目の加重平均値※を見ると、「1 ところとからだの健康づくりの推進」(0.89 ポイント) が特に高くなっています。次いで「3 子育て環境の充実」(0.64 ポイント)、「7 学校教育の充実」(0.57 ポイント) などとなっています。

一方、「33 総合的な人口減少対策の推進」(-0.05 ポイント) が最も低く、次いで低い「26 雇用の促進」(-0.01 ポイント) とともにマイナスの値となっています。また、すべての項目が 1.0 ポイント未満となっています。



※値が高い順に表示 ※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

まちづくりの現状評価 取り組みが進められていると思うか (加重平均値)

※加重平均値:「そう思う」に+2点、「どちらかというと思う」に+1点、「どちらともいえない」に0点、「どちらかというと思うわない」に-1点、「そう思わない」に-2点の加重値を与え、「不明」を除く回答者数で平均値を算出したもの。基準値を0として、プラスの値の場合は肯定的な評価、マイナスの値の場合は否定的な評価と考えられる

- 新規項目を除く 31 項目中 16 項目の評価が前回より向上
- 「地域・家庭教育の充実」「情報化の推進」の 2 項目の評価が比較的向上
- 「上下水道の整備」の評価が前回より最も低下
- 加重平均値上位 6 項目はいずれも評価が前回より低下

加重平均値について、過去の調査とは項目によって項目名の表現が大きく異なるため、参考として見てみると、新規項目を除く 31 項目中 16 項目が前回より高くなっています。

前回とのポイント差は「11 地域・家庭教育の充実」（選択肢表現同じ）、「30 情報化の推進」（前回「高度情報化の推進」）の 2 項目で大きく、いずれも前回より 0.25 ポイント高くなっています。一方、「21 上下水道の整備」は上記 2 項目に次いでポイント差が大きく（0.24 ポイント・選択肢表現同じ）、前回より低くなっています。

また、「1 ところとからだの健康づくりの推進」（前回「健康づくりと予防医療の推進」）をはじめ、加重平均値の上位 6 項目はいずれも前回より低くなっています。

【参考】まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（経年比較 加重平均値）

令和元年(n=1,197)		平成26年(n=1,029)		平成24年(n=1,121)	
1 ところからだの健康づくりの推進	0.89	健康づくりと予防医療の推進	1.06	健康づくりと予防医療の体制が充実したまち	0.75
3 子育て環境の充実	0.64	子育て支援の充実	0.68	子育て支援が充実したまち	0.38
7 学校教育の充実	0.57	学校教育の充実	0.59	学校の教育内容や施設整備が充実したまち	0.35
15 循環型社会の推進	0.52	循環型社会の創造	0.56	ごみの減量化やリサイクルが進んだまち	0.36
4 障がい者福祉の充実	0.51	障がい者福祉の充実	0.55	障がい者福祉が充実したまち	0.22
21 上下水道の整備	0.51	上下水道の整備	0.75	上下水道・浄化槽や排水施設などが整備されたまち	0.57
11 地域・家庭教育の充実	0.49	地域・家庭教育の充実	0.24	家庭の教育力向上や地域に密着した教育が進んだまち	-0.08
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.47	災害に強い安全と安心のまちづくり	0.40	防災体制が整備された災害に強いまち	0.10
10 生涯スポーツの推進	0.46	生涯スポーツの推進	0.46	誰もがスポーツに親しめるまち	0.03
5 高齢者福祉・介護の充実	0.44	高齢者福祉の充実	0.59	高齢者福祉が充実したまち	0.33
2 地域完結型保健医療体制の充実	0.42	地域完結型保健医療体制の構築	0.53	医療機関が利用しやすいまち	0.20
8 生涯学習の充実	0.42	生涯学習の充実	0.37	公民館や図書館など生涯学習の機会や施設が充実したまち	0.07
30 情報化の推進	0.41	高度情報化の推進	0.16	情報通信ネットワークが整備されたまち	-0.15
19 ひとにやさしいまちづくり	0.39	ひとにやさしいまちづくり	0.49	バスなどの公共交通が利用しやすいまち	-0.08
22 農業の振興	0.39	農業の振興	0.26	農業が盛んなまち	0.60
6 地域で支えあう福祉の充実	0.37	地域福祉の推進	0.43	地域福祉が盛んなまち	0.14
14 自然環境の保全	0.33	自然環境の保全と活用	0.26	自然環境の保全・活用が進んだまち	0.00
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	0.32	-	-	-	-
31 交流の推進と国際化	0.31	交流の推進	0.16	他都市・地域との交流や国際交流が盛んなまち	-0.09
17 生活環境の向上	0.30	生活環境の向上	0.15	地盤沈下や悪臭、騒音等、公害への対策が充実したまち	-0.23
9 地域文化の振興	0.30	地域文化の振興	0.32	地域の文化や伝統の保護・継承・活用が盛んなまち	0.09
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.28	野外・環境教育の推進	0.26	環境教育や環境活動が盛んなまち	-0.07
20 住環境の整備	0.27	住環境の整備	0.35	安心・快適な住宅・住環境が整備されたまち	0.06
28 協働のまちづくり	0.26	市民主体のまちづくり	0.22	市民主体のまちづくり活動が盛んなまち	-0.18
24 観光の振興	0.22	観光の振興	0.24	観光が盛んなまち	-0.04
23 林業の振興	0.19	林業の振興	0.01	林業が盛んなまち	-0.31
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	0.19	省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	-0.02	省エネルギーや新エネルギーの活用が進んだまち	-0.44
18 計画的な土地利用の推進	0.18	計画的な土地利用の推進	0.15	自然環境と都市環境の均衡・調和がとれたまち	-0.02
27 行財政運営の効率化	0.16	行財政運営の効率化	0.08	効率的な行財政運営がされているまち	-0.29
25 商工業の振興	0.15	商工業の振興	0.10	商工業が盛んなまち	-0.37
32 共感と共生のまちづくり	0.12	共感と共生のまちづくり	0.12	人権尊重や男女共同参画の意識が高いまち	-0.19
26 雇用の促進	-0.01	雇用の促進	-0.11	雇用対策が充実したまち	-0.59
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.05	-	-	-	-

※各年とも、令和元年の値が高い順に表示

※各年で表現が異なる項目は、同様の内容の項目を当てはめて整理。「12 子ども・若者やその家族への支援の充実」「33 総合的な人口減少対策の推進」は新規項目

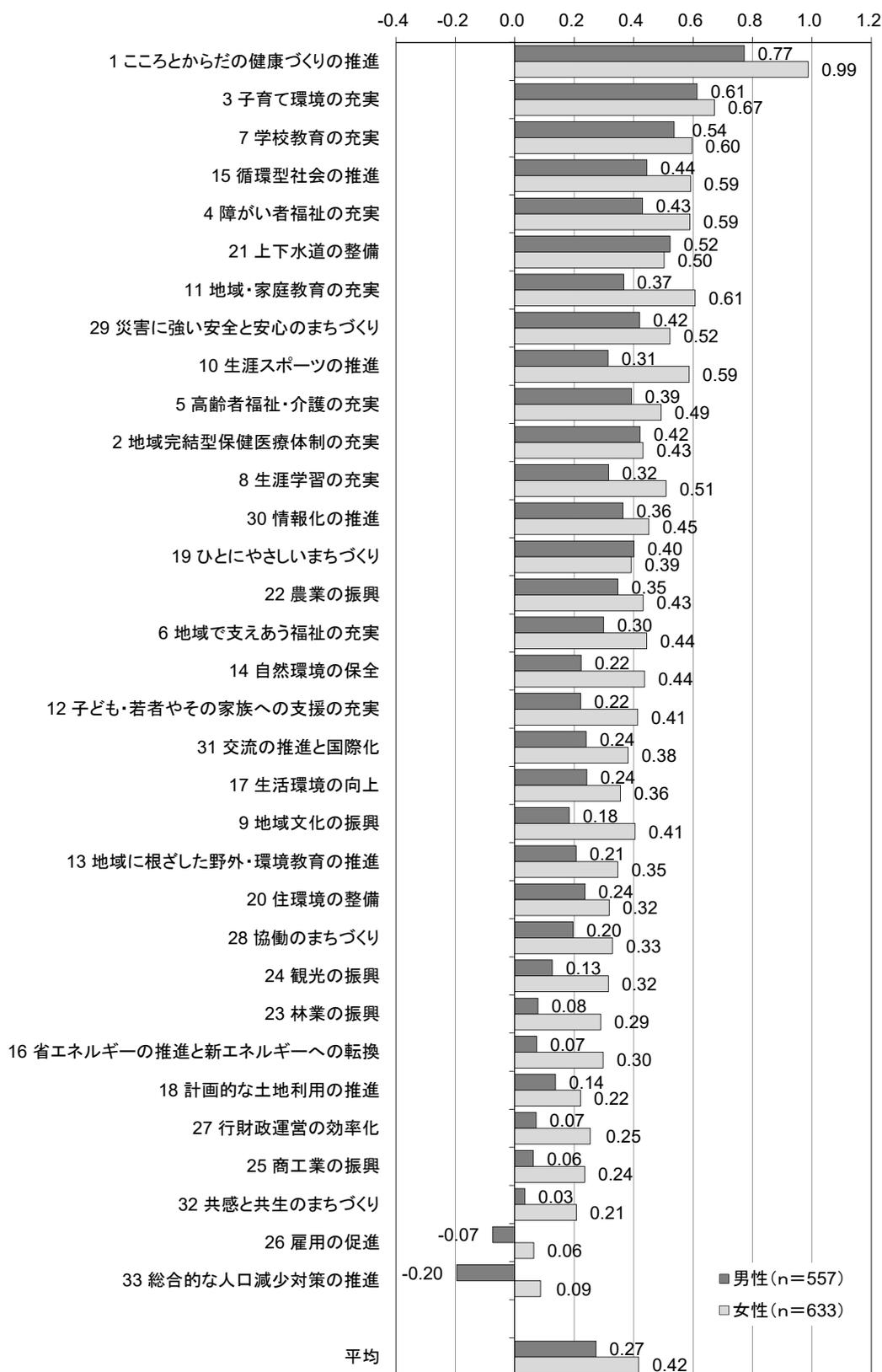
- 男女とも「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高い
- 次いで男女とも「子育て環境の充実」の評価が高い
- ほとんどの項目で女性が男性より高く、女性はすべての項目がプラス値
- 男女差は「総合的な人口減少対策」「生涯スポーツ推進」で比較的大きく、いずれも女性が男性より高い

性別で加重平均値を見ると、男女とも「1 こころとからだの健康づくりの推進」(男性 0.77 ポイント、女性 0.99 ポイント) が最も高く、次いで「3 子育て環境の充実」(男性 0.61 ポイント、女性 0.67 ポイント) となっています。

一方、最も低い項目は、男性は「33 総合的な人口減少対策の推進」(-0.20 ポイント)、女性は「26 雇用の促進」(0.06 ポイント) となっており、女性は「33 総合的な人口減少対策の推進」(0.09 ポイント) も同程度となっています。また、男性は「26 雇用の促進」(-0.07 ポイント)、「33 総合的な人口減少対策の推進」の 2 項目がマイナスの値となっていますが、女性はすべての項目がプラスの値となっています。

「21 上下水道の整備」「19 ひとにやさしいまちづくり」の 2 項目を除き、女性が男性より高くなっています。男女差は「33 総合的な人口減少対策の推進」「10 生涯スポーツの推進」で比較的大きく、女性が男性よりそれぞれ 0.29 ポイント、0.28 ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果と分析 1. まちづくりの現状評価



※全体値が高い順に表示 ※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（性別 加重平均値）

- すべての年代で「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高い
- 70 歳代以上のみすべての項目がプラス値
- 年代差は「上下水道の整備」「雇用促進」「総合的な人口減少対策」で大きく、いずれも 70 歳以上で評価が高い

年代別で加重平均値を見ると、すべての年代で「1 こころとからだの健康づくりの推進」が最も高く、次いで 30 歳代以上は「3 子育て環境の充実」、20 歳代は「29 災害に強い安全と安心のまちづくり」(0.63 ポイント)となっています(30 歳代は「11 地域・家庭教育の充実」(0.47 ポイント)、50 歳代は「7 学校教育の充実」(0.49 ポイント)と同値)。

一方、最も低い項目は、20 歳代、70 歳以上を除き「33 総合的な人口減少対策の推進」、20 歳代、70 歳以上は「26 雇用の促進」(それぞれ-0.32 ポイント、0.28 ポイント)となっています。また、70 歳以上のみすべての項目がプラスの値となっています。

年代差は「21 上下水道の整備」「26 雇用の促進」「33 総合的な人口減少対策の推進」で大きく、「21 上下水道の整備」「33 総合的な人口減少対策の推進」は 30 歳代、「26 雇用の促進」は 20 歳代が最も低く、いずれも 70 歳以上が最も高くなっています。

加重平均値の平均を見ると、70 歳以上 (0.54 ポイント) が最も高く、50 歳代 (0.19 ポイント) が最も低くなっています。

Ⅲ 調査の結果と分析 1. まちづくりの現状評価

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（年代別 加重平均値）

	加重平均値	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1 ところからだの健康づくりの推進	0.74	0.61	0.92	0.71	0.92	1.09	
3 子育て環境の充実	0.47	0.47	0.55	0.49	0.68	0.89	
7 学校教育の充実	0.53	0.34	0.48	0.49	0.56	0.80	
15 循環型社会の推進	0.52	0.37	0.34	0.33	0.56	0.80	
4 障がい者福祉の充実	0.45	0.36	0.40	0.33	0.57	0.74	
21 上下水道の整備	0.38	0.16	0.42	0.30	0.63	0.76	
11 地域・家庭教育の充実	0.48	0.47	0.53	0.35	0.48	0.59	
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.63	0.37	0.45	0.17	0.46	0.71	
10 生涯スポーツの推進	0.26	0.33	0.49	0.38	0.46	0.60	
5 高齢者福祉・介護の充実	0.44	0.29	0.33	0.25	0.51	0.63	
2 地域完結型保健医療体制の充実	0.55	0.14	0.30	0.28	0.47	0.67	
8 生涯学習の充実	0.47	0.41	0.39	0.30	0.36	0.57	
30 情報化の推進	0.30	0.28	0.29	0.24	0.48	0.59	
19 ひとにやさしいまちづくり	0.32	0.29	0.39	0.09	0.42	0.62	
22 農業の振興	0.44	0.35	0.41	0.30	0.36	0.48	
6 地域で支えあう福祉の充実	0.35	0.29	0.28	0.21	0.42	0.54	
14 自然環境の保全	0.48	0.33	0.33	0.23	0.27	0.46	
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	0.08	0.11	0.25	0.21	0.42	0.51	
31 交流の推進と国際化	0.32	0.28	0.27	0.17	0.36	0.39	
17 生活環境の向上	0.42	0.17	0.21	0.13	0.31	0.52	
9 地域文化の振興	0.24	0.22	0.27	0.21	0.27	0.47	
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.21	0.20	0.19	0.22	0.28	0.44	
20 住環境の整備	0.09	0.13	0.23	0.12	0.36	0.42	
28 協働のまちづくり	0.33	0.16	0.15	0.05	0.31	0.47	
24 観光の振興	0.17	0.09	0.21	0.07	0.23	0.42	
23 林業の振興	0.29	0.29	0.21	0.01	0.13	0.29	
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	0.36	0.10	0.16	0.08	0.17	0.32	
18 計画的な土地利用の推進	0.21	0.14	0.06	0.00	0.20	0.38	
27 行財政運営の効率化	0.23	0.02	0.07	0.01	0.17	0.40	
25 商工業の振興	0.12	0.11	0.07	-0.05	0.16	0.38	
32 共感と共生のまちづくり	0.11	0.07	0.04	-0.01	0.12	0.31	
26 雇用の促進	-0.32	-0.12	-0.13	-0.18	0.06	0.28	
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.03	-0.28	-0.14	-0.26	-0.05	0.29	
平均	0.32	0.23	0.29	0.19	0.37	0.54	

※全体値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- すべての地域で「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高い
- 次いですべての地域で「子育て環境の充実」の評価が高い
- 六日町地域のみすべての項目がプラス値
- 地域差は「地域完結型保健医療体制」で最も大きく、大和地域が高い

地域別で加重平均値を見ると、すべての地域で「1 こころとからだの健康づくりの推進」が最も高く、次いで「3 子育て環境の充実」が高くなっています。

一方、最も低い項目は、すべての地域で「33 総合的な人口減少対策の推進」となっています。また、六日町地域のみすべての項目がプラスの値となっています。

地域差は「2 地域完結型保健医療体制の充実」で最も大きく、最も高い大和地域（0.54 ポイント）と最も低い塩沢地域（0.29 ポイント）では 0.25 ポイントの差が見られます。

加重平均値の平均を見ると、大和地域（0.37 ポイント）と六日町地域（0.38 ポイント）は同程度に高く、塩沢地域（0.29 ポイント）が最も低くなっています。

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（地域別 加重平均値）

	加重平均値	大和地域	六日町地域	塩沢地域
1 ところとからだの健康づくりの推進		0.89	0.95	0.80
3 子育て環境の充実		0.66	0.70	0.56
7 学校教育の充実		0.60	0.59	0.51
15 循環型社会の推進		0.46	0.57	0.50
4 障がい者福祉の充実		0.49	0.58	0.43
21 上下水道の整備		0.56	0.53	0.44
11 地域・家庭教育の充実		0.49	0.53	0.44
29 災害に強い安全と安心のまちづくり		0.49	0.46	0.46
10 生涯スポーツの推進		0.43	0.48	0.44
5 高齢者福祉・介護の充実		0.50	0.48	0.35
2 地域完結型保健医療体制の充実		0.54	0.46	0.29
8 生涯学習の充実		0.35	0.49	0.37
30 情報化の推進		0.46	0.44	0.34
19 ひとにやさしいまちづくり		0.41	0.41	0.35
22 農業の振興		0.46	0.41	0.31
6 地域で支えあう福祉の充実		0.36	0.44	0.30
14 自然環境の保全		0.38	0.34	0.30
12 子ども・若者やその家族への支援の充実		0.33	0.36	0.27
31 交流の推進と国際化		0.31	0.34	0.27
17 生活環境の向上		0.38	0.29	0.27
9 地域文化の振興		0.27	0.33	0.27
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進		0.32	0.31	0.21
20 住環境の整備		0.35	0.31	0.19
28 協働のまちづくり		0.30	0.28	0.20
24 観光の振興		0.26	0.18	0.26
23 林業の振興		0.20	0.24	0.10
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換		0.25	0.19	0.15
18 計画的な土地利用の推進		0.28	0.15	0.15
27 行財政運営の効率化		0.18	0.19	0.12
25 商工業の振興		0.14	0.16	0.15
32 共感と共生のまちづくり		0.15	0.18	0.04
26 雇用の促進		-0.03	0.07	-0.08
33 総合的な人口減少対策の推進		-0.07	0.03	-0.13
	平均	0.37	0.38	0.29

※全体値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- 自営農林を除き「こころとからだの健康づくりの推進」の評価が最も高い
- 家事専業、無職はすべての項目がプラス値
- 職業差は「上下水道の整備」で最も高く、自営農林が高い

職業別で加重平均値を見ると、農林自営を除き「1 こころとからだの健康づくりの推進」が最も高く、次いで「3 子育て環境の充実」が高くなっています（商工自営は「7 学校教育の充実（0.53 ポイント）と同値）。農林自営は「21 上下水道の整備」（0.98 ポイント）が最も高く、次いで「1 こころとからだの健康づくりの推進」（0.85 ポイント）となっています。

一方、最も低い項目は、家事専業を除き「33 総合的な人口減少対策の推進」となっており、家事専業は「26 雇用の促進」（0.09 ポイント）となっています（商工自営は上記2項目が-0.09 ポイントで同値）。また、家事専業、無職はすべての項目がプラスの値となっています。

職業差は「21 上下水道の整備」で最も大きく、最も高い農林自営と最も低い商工自営（0.37 ポイント）では 0.61 ポイントの差が見られます。

加重平均値の平均を見ると、無職（0.45 ポイント）、農林自営（0.44 ポイント）、家事専業（0.43 ポイント）が同程度で比較的高く、常勤（0.25 ポイント）が最も低くなっています。

Ⅲ 調査の結果と分析 1. まちづくりの現状評価

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（職業別 加重平均値）

	加重平均値	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
1 ところからだの健康づくりの推進		0.75	0.96	0.85	0.94	1.04	1.01
3 子育て環境の充実		0.52	0.65	0.69	0.53	0.77	0.83
7 学校教育の充実		0.45	0.61	0.81	0.53	0.56	0.69
15 循環型社会の推進		0.38	0.50	0.66	0.46	0.66	0.72
4 障がい者福祉の充実		0.38	0.57	0.57	0.51	0.65	0.65
21 上下水道の整備		0.39	0.50	0.98	0.37	0.53	0.67
11 地域・家庭教育の充実		0.41	0.64	0.51	0.28	0.57	0.54
29 災害に強い安全と安心のまちづくり		0.36	0.49	0.54	0.36	0.58	0.63
10 生涯スポーツの推進		0.41	0.55	0.41	0.34	0.51	0.49
5 高齢者福祉・介護の充実		0.33	0.42	0.68	0.37	0.49	0.61
2 地域完結型保健医療体制の充実		0.30	0.46	0.75	0.35	0.54	0.49
8 生涯学習の充実		0.35	0.50	0.41	0.35	0.41	0.48
30 情報化の推進		0.31	0.43	0.56	0.32	0.48	0.53
19 ひとにやさしいまちづくり		0.36	0.26	0.63	0.42	0.43	0.49
22 農業の振興		0.34	0.38	0.33	0.36	0.48	0.42
6 地域で支えあう福祉の充実		0.29	0.44	0.47	0.18	0.47	0.46
14 自然環境の保全		0.29	0.31	0.45	0.23	0.46	0.35
12 子ども・若者やその家族への支援の充実		0.21	0.46	0.30	0.10	0.40	0.44
31 交流の推進と国際化		0.24	0.35	0.30	0.17	0.41	0.37
17 生活環境の向上		0.24	0.24	0.50	0.18	0.29	0.44
9 地域文化の振興		0.23	0.38	0.38	0.18	0.34	0.37
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進		0.22	0.38	0.26	0.18	0.33	0.31
20 住環境の整備		0.19	0.28	0.49	0.13	0.34	0.39
28 協働のまちづくり		0.13	0.32	0.46	0.13	0.39	0.38
24 観光の振興		0.16	0.19	0.16	0.34	0.34	0.30
23 林業の振興		0.12	0.21	0.25	0.12	0.25	0.25
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換		0.15	0.20	0.24	-0.08	0.31	0.24
18 計画的な土地利用の推進		0.10	0.22	0.40	0.08	0.16	0.25
27 行財政運営の効率化		0.07	0.21	0.35	0.01	0.28	0.26
25 商工業の振興		0.03	0.21	0.16	0.10	0.32	0.26
32 共感と共生のまちづくり		0.02	0.17	0.04	0.09	0.23	0.23
26 雇用の促進		-0.15	0.04	0.20	-0.09	0.09	0.20
33 総合的な人口減少対策の推進		-0.21	-0.02	-0.09	-0.09	0.15	0.15
平均		0.25	0.38	0.44	0.26	0.43	0.45

※全体値が高い順に表示

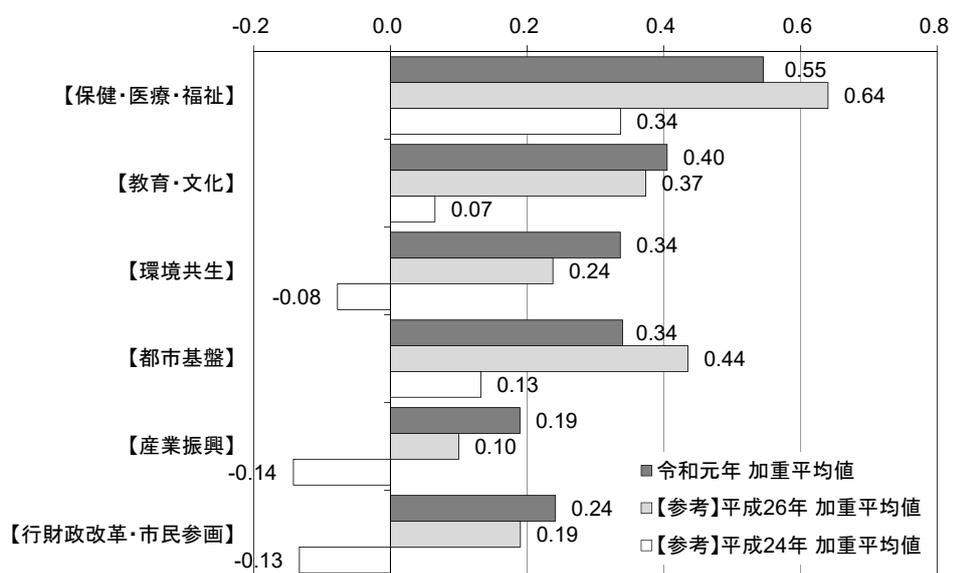
※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- 政策分野別で評価が最も高いのは「保健・医療・福祉」、最も低いのは「産業振興」
- 過去 2 回の調査も同様の傾向

33 項目の加重平均値について、第 2 次総合計画における 6 つの政策分野に分類した平均※を見ると、「保健・医療・福祉」(0.55 ポイント) が最も高く、次いで「教育・文化」(0.40 ポイント)、「環境共生」「都市基盤」(0.34 ポイントで同値) となっています。

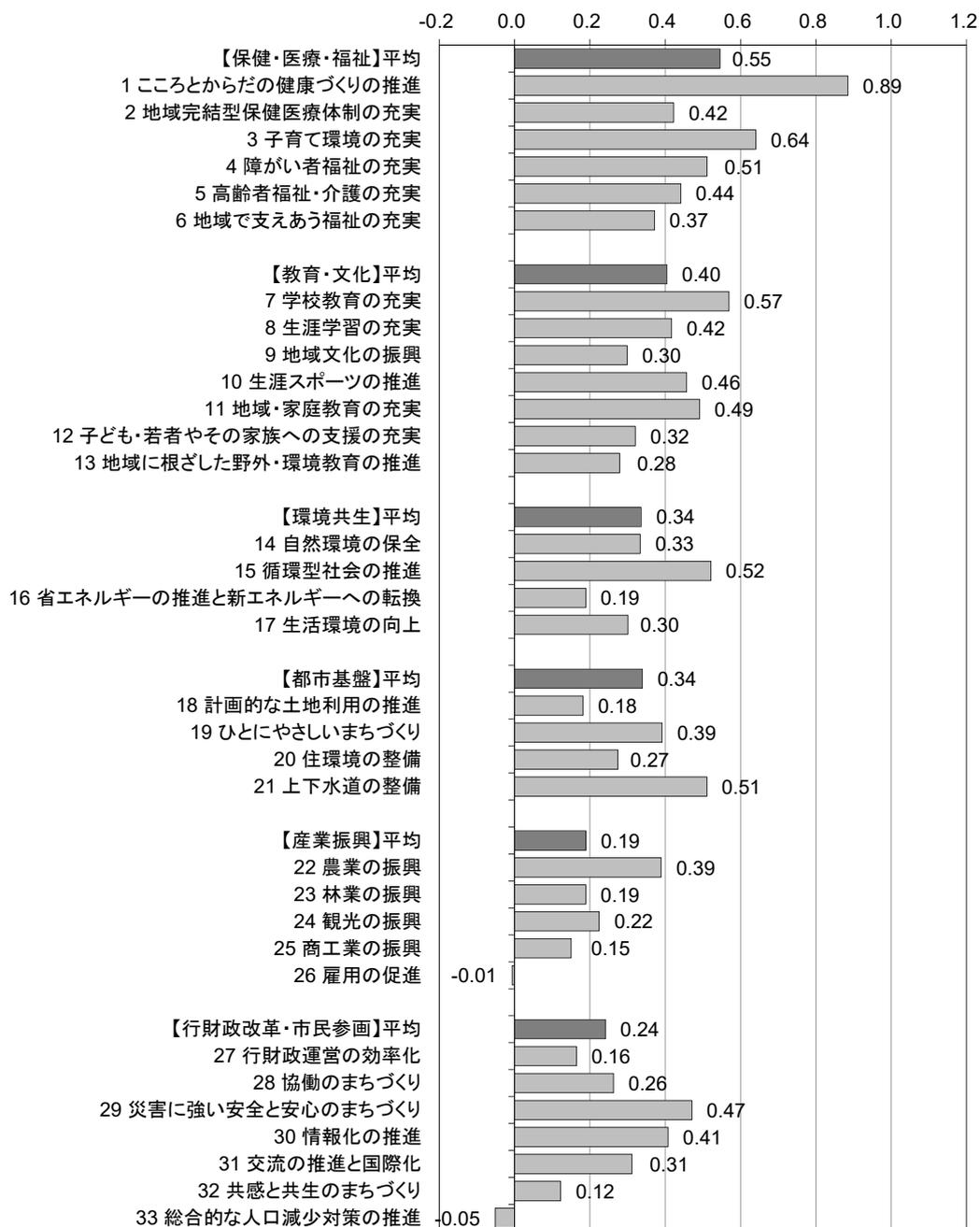
過去 2 回の調査とは項目によって項目名の表現が大きく異なるため、参考として見てみると、政策分野別の値の順位はいずれの年も「保健・医療・福祉」が最も高く、「産業振興」が最も低くなっています。



※各加重平均値を政策分野別に分類し、分類ごとに全値を足し合わせ、項目数で除した値  
 前回、前々回の値は、本調査とは項目数や項目内容が異なるため、本調査の項目に合わせて再集計  
 ※第 2 次総合計画における表示順に表示

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか (政策分野別 経年比較 加重平均値)

各政策に分類される項目それぞれの加重平均値を見ると、「保健・医療・福祉」の項目は「1 ところとからだの健康づくりの推進」をはじめ、いずれの項目も比較的值が高くなっています。一方、「産業振興」の項目は「農業の振興」を除きいずれも比較的值が低くなっています。



※【 】内は政策分野名  
※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

まちづくりの現状評価 取組が進められていると思うか（政策分野別項目 加重平均値）

## 2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと

問2 「問1」の項目の中で、今後、特に南魚沼市が力を入れて取り組むべきことはどれですか。(5つまで選択)

- 「総合的な人口減少対策」の要望が最も高い
- 「高齢者福祉・介護」「ひとにやさしいまちづくり」も重視
- 「ひとにやさしいまちづくり」は前回調査より高い

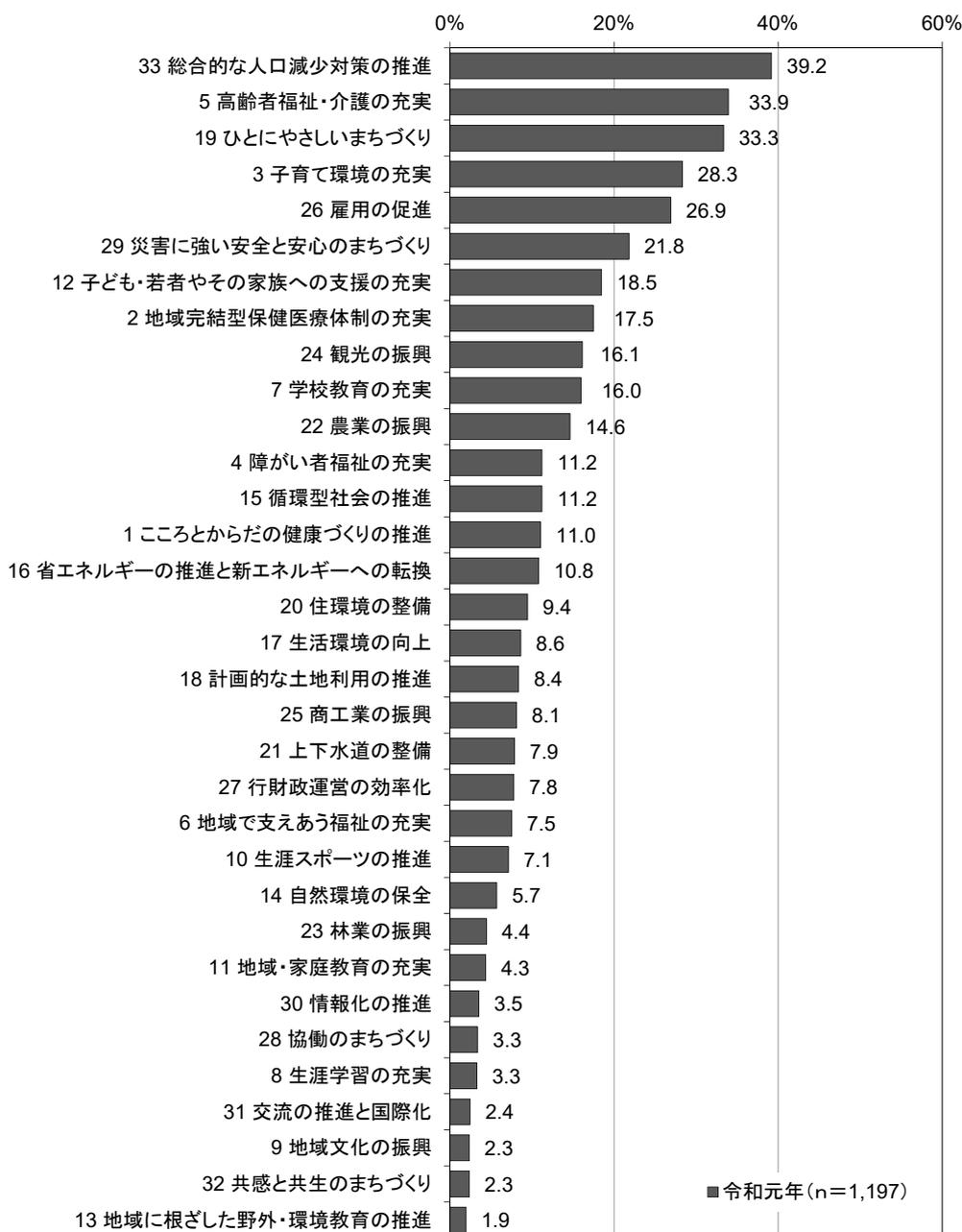
「33 総合的な人口減少対策の推進」(39.2%)が約4割で最も高く、次いで「5 高齢者福祉・介護の充実」(33.9%)、「19 ひとにやさしいまちづくり」(33.3%)の2項目がそれぞれ3割以上となっています。

一方、「13 地域に根ざした野外・環境教育の推進」(1.9%)が最も低くなっています。

過去の調査とは項目によって項目名の表現が大きく異なるため、参考として見てみると、新規項目を除く31項目中9項目が前回より高く、その中でも「19 ひとにやさしいまちづくり」は前回(17.5%)より約16ポイント高くなっています。

一方、21項目が前回より低くなっており、その中でも「26 雇用の促進」(26.9%)は前回(34.2%)より約7ポイント低くなっています。

Ⅲ 調査の結果と分析 2. 今後特に力を入れて取り組むべきこと



※値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

今後力を入れて取り組むべきこと (5つまで選択)

【参考】今後力を入れて取り組むべきこと（経年比較）

令和元年(n=1,197)	%	平成26年(n=1,029)	%	平成24年(n=1,121)	%
33 総合的な人口減少対策の推進	39.2	-	-	-	-
5 高齢者福祉・介護の充実	33.9	高齢者福祉の充実	30.3	高齢者福祉が充実したまち	29.0
19 ひとにやさしいまちづくり	33.3	ひとにやさしいまちづくり	17.5	バスなどの公共交通が利用しやすいまち	16.7
3 子育て環境の充実	28.3	子育て支援の充実	27.1	子育て支援が充実したまち	22.7
26 雇用の促進	26.9	雇用の促進	34.2	雇用対策が充実したまち	38.2
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	21.8	災害に強い安全と安心のまちづくり	25.1	防災体制が整備された災害に強いまち	20.4
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	18.5	-	-	-	-
2 地域完結型保健医療体制の充実	17.5	地域完結型保健医療体制の構築	22.6	医療機関が利用しやすいまち	33.4
24 観光の振興	16.1	観光の振興	18.2	観光が盛んなまち	16.1
7 学校教育の充実	16.0	学校教育の充実	16.4	学校の教育内容や施設整備が充実したまち	12.7
22 農業の振興	14.6	農業の振興	18.6	農業が盛んなまち	11.6
4 障がい者福祉の充実	11.2	障がい者福祉の充実	8.7	障がい者福祉が充実したまち	9.6
15 循環型社会の推進	11.2	循環型社会の創造	7.5	ごみの減量化やリサイクルが進んだまち	7.7
1 ことごとからだの健康づくりの推進	11.0	健康づくりと予防医療の推進	16.2	健康づくりと予防医療の体制が充実したまち	10.4
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	10.8	省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	17.2	省エネルギーや新エネルギーの活用が進んだまち	21.0
20 住環境の整備	9.4	住環境の整備	11.1	安心・快適な住宅・住環境が整備されたまち	11.2
17 生活環境の向上	8.6	生活環境の向上	12.8	地盤沈下や悪臭、騒音等、公害への対策が充実したまち	13.1
18 計画的な土地利用の推進	8.4	計画的な土地利用の推進	8.6	自然環境と都市環境の均衡・調和がとれたまち	8.1
25 商工業の振興	8.1	商工業の振興	10.9	商工業が盛んなまち	13.4
21 上下水道の整備	7.9	上下水道の整備	5.0	上下水道・浄化槽や排水施設などが整備されたまち	3.3
27 行財政運営の効率化	7.8	行財政運営の効率化	10.5	効率的な行財政運営がされているまち	14.7
6 地域で支えあう福祉の充実	7.5	地域福祉の推進	6.8	地域福祉が盛んなまち	8.4
10 生涯スポーツの推進	7.1	生涯スポーツの推進	5.7	誰もがスポーツに親しめるまち	7.7
14 自然環境の保全	5.7	自然環境の保全と活用	6.7	自然環境の保全・活用が進んだまち	5.4
23 林業の振興	4.4	林業の振興	5.3	林業が盛んなまち	3.9
11 地域・家庭教育の充実	4.3	地域・家庭教育の充実	9.8	家庭の教育力向上や地域に密着した教育が進んだまち	12.9
30 情報化の推進	3.5	高度情報化の推進	2.9	情報通信ネットワークが整備されたまち	4.6
28 協働のまちづくり	3.3	市民主体のまちづくり	7.9	市民主体のまちづくり活動が盛んなまち	8.7
8 生涯学習の充実	3.3	生涯学習の充実	4.1	公民館や図書館など生涯学習の機会や施設が充実したまち	8.4
31 交流の推進と国際化	2.4	交流の推進	4.3	他都市・地域との交流や国際交流が盛んなまち	3.4
9 地域文化の振興	2.3	地域文化の振興	2.5	地域の文化や伝統の保護・継承・活用が盛んなまち	6.4
32 共感と共生のまちづくり	2.3	共感と共生のまちづくり	2.4	人権尊重や男女共同参画の意識が高いまち	3.9
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	1.9	野外・環境教育の推進	1.9	環境教育や環境活動が盛んなまち	2.7

※令和元年の値が高い順に表示

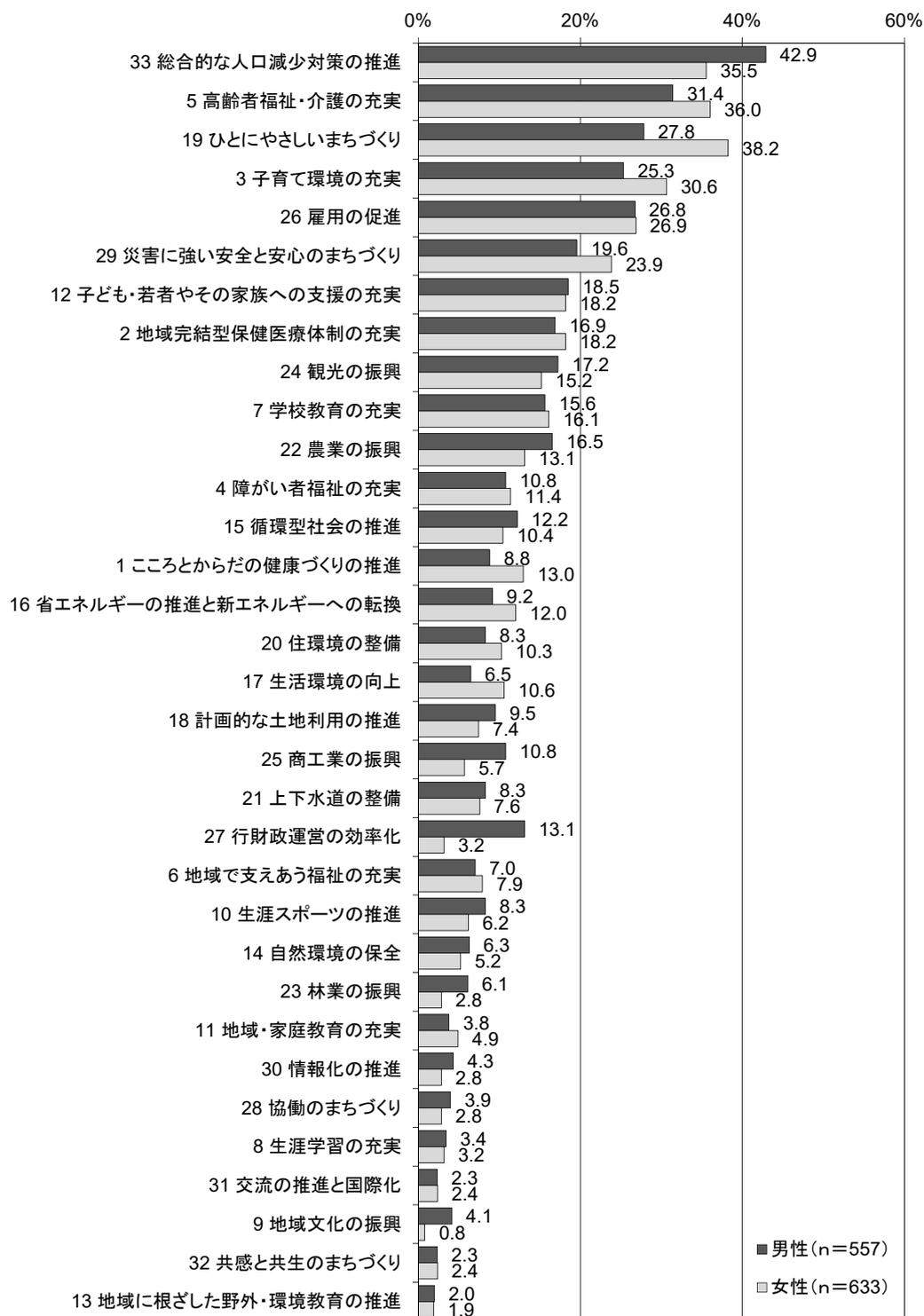
※各年で表現が異なる項目は、同様の内容の項目を当てはめて整理。「12 子ども・若者やその家族への支援の充実」「33 総合的な人口減少対策の推進」は新規項目

- 男性は「総合的な人口減少対策」、女性は「ひとにやさしいまちづくり」が最も高い
- 男女差は「行財政運営の効率化」「ひとにやさしいまちづくり」で大きく、「行財政運営の効率化」は男性、「ひとにやさしいまちづくり」は女性が高い

性別では、男性は「33 総合的な人口減少対策の推進」(42.9%)、女性は「19 ひとにやさしいまちづくり」(38.2%) がそれぞれ約4割で最も高く、次いで男女とも「5 高齢者福祉・介護の充実」(男性31.4%、女性36.0%) が高くなっています。

一方、最も低い項目は、男性は「13 地域に根ざした野外・環境教育の推進」(2.0%)、女性は「9 地域文化の振興」(0.8%) となっています。

男女差は「19 ひとにやさしいまちづくり」(男性27.8%、女性38.2%)、「27 行財政運営の効率化」(男性13.1%、女性3.2%) で大きく、「19 ひとにやさしいまちづくり」は女性、「27 行財政運営の効率化」は男性がそれぞれ約10ポイント高くなっています。



※全体値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

今後力を入れて取り組むべきこと（性別）

- いずれの年代も「総合的な人口減少対策」の要望が比較的高い
- 30歳代は「子育て環境の充実」が特に高く、年代差が最も大きい

年代別では、20・40・60歳代は「33 総合的な人口減少対策の推進」、30歳代は「3 子育て環境の充実」(50.0%)、50歳代、70歳以上は「5 高齢者福祉・介護の充実」(それぞれ38.8%、35.7%)がそれぞれ最も高く、いずれの年代も「33 総合的な人口減少対策の推進」が比較的高くなっています。また、30歳代は「3 子育て環境の充実」が5割で特に高くなっています。

一方、最も低い項目は年代によって異なり、その中でも20歳代は「23 林業の振興」「8 生涯学習の充実」の回答が見られませんでした。

年代差は「3 子育て支援の充実」で最も大きく、30歳代が最も高く、70歳以上(17.5%)が最も低くなっています。

今後力を入れて取り組むべきこと（年代別）

(%)	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳以上
n	68	132	189	170	340	291
33 総合的な人口減少対策の推進	48.5	43.9	40.2	38.2	40.0	33.0
5 高齢者福祉・介護の充実	29.4	19.7	30.7	38.8	37.6	35.7
19 ひとにやさしいまちづくり	35.3	31.8	34.4	36.5	32.4	32.0
3 子育て環境の充実	38.2	50.0	31.7	25.9	26.2	17.5
26 雇用の促進	25.0	25.0	29.1	34.1	30.0	18.6
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	4.4	17.4	20.6	24.1	25.3	23.4
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	20.6	30.3	23.8	18.2	14.1	14.1
2 地域完結型保健医療体制の充実	13.2	15.9	15.3	22.9	22.1	12.4
24 観光の振興	26.5	26.5	21.2	18.8	10.6	10.3
7 学校教育の充実	22.1	25.0	22.2	10.0	15.9	10.0
22 農業の振興	7.4	8.3	9.5	16.5	19.7	15.8
4 障がい者福祉の充実	11.8	9.8	11.6	15.3	10.0	9.6
15 循環型社会の推進	5.9	6.8	8.5	10.0	13.2	14.8
1 ところからだの健康づくりの推進	16.2	20.5	9.0	8.2	9.4	10.3
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	8.8	9.8	7.9	10.0	12.9	11.3
20 住環境の整備	8.8	12.1	10.1	8.8	9.1	8.2
17 生活環境の向上	5.9	10.6	7.4	8.2	7.9	10.3
18 計画的な土地利用の推進	2.9	6.1	8.5	11.2	7.1	10.7
25 商工業の振興	4.4	7.6	10.6	11.8	6.8	6.9
21 上下水道の整備	7.4	6.1	7.9	10.0	7.4	8.2
27 行財政運営の効率化	5.9	6.1	6.3	9.4	9.1	7.6
6 地域で支えあう福祉の充実	8.8	4.5	5.3	8.8	7.4	9.3
10 生涯スポーツの推進	10.3	11.4	13.8	4.7	4.4	4.5
14 自然環境の保全	1.5	1.5	2.1	6.5	7.6	8.2
23 林業の振興	0.0	2.3	1.6	3.5	6.8	6.2
11 地域・家庭教育の充実	7.4	9.8	4.8	2.9	3.5	2.7
30 情報化の推進	5.9	4.5	4.2	4.1	2.6	2.7
28 協働のまちづくり	1.5	2.3	1.6	2.9	5.3	3.4
8 生涯学習の充実	0.0	4.5	4.8	4.1	2.9	2.4
31 交流の推進と国際化	10.3	6.1	2.6	2.4	0.9	0.7
9 地域文化の振興	2.9	1.5	1.6	1.8	2.1	3.8
32 共感と共生のまちづくり	5.9	3.0	2.6	2.4	1.8	1.7
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	2.9	1.5	2.6	2.9	1.2	1.7
平均	12.3	13.4	12.6	13.2	12.5	11.2

※全体値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- すべての地域で「総合的な人口減少対策」が最も高い
- 大きな地域差は見られない

地域別では、すべての地域で「33 総合的な人口減少対策の推進」が最も高く、次いで大和地域、六日町地域は「19 ひとにやさしいまちづくり」（それぞれ 35.7%、33.5%）、塩沢地域は「5 高齢者福祉・介護の充実」（37.6%）が高くなっています。

一方、最も低い項目は、大和地域は「9 地域文化の振興」（0.7%）、六日町地域は「31 交流の推進と国際化」（1.7%）、塩沢地域は「13 地域に根ざした野外・環境教育の推進」（1.8%）となっています。

大きな地域差は見られませんが、その中で「3 子育て環境の充実」は比較的地域差が大きく、六日町地域（31.8%）が最も高く、大和地域（23.5%）が最も低くなっています。

今後力を入れて取り組むべきこと（地域別）

(%)	大和地域	六日町地域	塩沢地域
n	272	519	399
33 総合的な人口減少対策の推進	37.9	39.7	39.1
5 高齢者福祉・介護の充実	33.8	31.0	37.6
19 ひとにやさしいまちづくり	35.7	33.5	31.6
3 子育て環境の充実	23.5	31.8	26.8
26 雇用の促進	30.1	23.9	28.3
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	20.6	23.1	21.1
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	16.5	20.2	17.0
2 地域完結型保健医療体制の充実	15.4	16.0	20.8
24 観光の振興	13.2	18.5	15.3
7 学校教育の充実	13.6	17.9	15.0
22 農業の振興	13.2	14.6	15.5
4 障がい者福祉の充実	9.6	12.5	10.0
15 循環型社会の推進	9.9	10.6	12.8
1 ところとからだの健康づくりの推進	12.5	13.1	7.0
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	10.7	9.6	12.3
20 住環境の整備	7.7	10.2	9.3
17 生活環境の向上	8.8	8.9	8.3
18 計画的な土地利用の推進	7.0	11.0	6.0
25 商工業の振興	9.2	6.9	8.8
21 上下水道の整備	7.4	8.3	7.8
27 行財政運営の効率化	6.6	8.5	7.8
6 地域で支えあう福祉の充実	7.0	7.9	7.3
10 生涯スポーツの推進	5.1	7.9	7.5
14 自然環境の保全	5.1	5.6	6.3
23 林業の振興	4.8	3.9	4.8
11 地域・家庭教育の充実	2.2	5.8	4.0
30 情報化の推進	3.3	4.0	3.0
28 協働のまちづくり	1.8	3.9	3.8
8 生涯学習の充実	3.7	3.5	2.8
31 交流の推進と国際化	2.6	1.7	3.3
9 地域文化の振興	0.7	3.1	2.5
32 共感と共生のまちづくり	2.6	2.1	2.5
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	2.2	1.9	1.8
平均	11.6	12.8	12.3

※全体値が高い順に表示

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- ほとんどの職業で「総合的な人口減少対策」が最も高い
- 家事専業は「ひとにやさしいまちづくり」、無職は「高齢者福祉・介護」がそれぞれ最も高い
- 職業差は「農業の振興」で大きく、農林自営が最も高い

職業別では、家事専業、無職を除き「33 総合的な人口減少対策の推進」が最も高く、家事専業は「19 ひとにやさしいまちづくり」(44.0%)、無職は「5 高齢者福祉・介護の充実」(38.6%)が最も高くなっています。

また、農林自営は「22 農業の振興」(35.0%)、商工自営は「25 商工業の振興」(26.3%)がそれぞれ比較的高くなっています。

一方、最も低い項目は職業によって異なり、その中で農林自営は「11 地域・家庭教育の充実」「31 交流の推進と国際化」、商工自営は「8 生涯学習の充実」、家事専業は「9 地域文化の振興」の回答が見られませんでした。

職業差は「22 農業の振興」で最も大きく、農林自営が最も高く、商工自営(6.3%)が最も低くなっています。

今後力を入れて取り組むべきこと（職業別）

(%)	常勤	非常勤	農林自営	商工自営	家事専業	無職
n	432	224	60	80	125	241
33 総合的な人口減少対策の推進	47.9	36.2	38.3	36.3	33.6	31.1
5 高齢者福祉・介護の充実	33.3	32.6	18.3	21.3	43.2	38.6
19 ひとにやさしいまちづくり	31.3	37.1	18.3	26.3	44.0	34.9
3 子育て環境の充実	35.2	31.3	15.0	23.8	25.6	20.3
26 雇用の促進	29.4	33.9	11.7	22.5	20.8	24.5
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	20.6	20.5	23.3	15.0	29.6	25.3
12 子ども・若者やその家族への支援の充実	23.4	19.6	8.3	18.8	12.0	13.7
2 地域完結型保健医療体制の充実	17.4	18.3	21.7	25.0	19.2	13.3
24 観光の振興	20.1	16.1	11.7	20.0	12.8	10.0
7 学校教育の充実	18.3	15.2	15.0	16.3	17.6	11.6
22 農業の振興	13.2	10.3	35.0	6.3	24.8	14.9
4 障がい者福祉の充実	11.3	13.4	6.7	5.0	7.2	14.1
15 循環型社会の推進	8.8	9.8	13.3	13.8	18.4	12.0
1 心ころとからだの健康づくりの推進	11.6	11.6	15.0	7.5	14.4	8.7
16 省エネルギーの推進と新エネルギーへの転換	8.6	12.5	10.0	12.5	12.0	11.6
20 住環境の整備	8.6	12.1	5.0	5.0	10.4	10.4
17 生活環境の向上	7.2	8.5	11.7	7.5	11.2	10.8
18 計画的な土地利用の推進	7.4	8.5	8.3	10.0	6.4	11.6
25 商工業の振興	9.3	4.9	6.7	26.3	4.8	5.8
21 上下水道の整備	8.3	8.0	6.7	10.0	7.2	7.5
27 行財政運営の効率化	9.5	2.7	20.0	10.0	2.4	9.1
6 地域で支えあう福祉の充実	6.5	8.5	10.0	7.5	8.8	7.9
10 生涯スポーツの推進	9.5	7.1	1.7	7.5	6.4	4.6
14 自然環境の保全	4.4	4.0	11.7	3.8	6.4	8.3
23 林業の振興	3.7	2.7	6.7	3.8	6.4	5.8
11 地域・家庭教育の充実	5.3	4.0	0.0	5.0	4.8	3.7
30 情報化の推進	4.4	4.0	1.7	3.8	1.6	2.5
28 協働のまちづくり	2.1	3.1	5.0	5.0	3.2	5.4
8 生涯学習の充実	4.4	1.8	5.0	0.0	1.6	4.6
31 交流の推進と国際化	3.0	3.6	0.0	2.5	0.8	0.4
9 地域文化の振興	1.9	1.3	5.0	6.3	0.0	2.9
32 共感と共生のまちづくり	2.8	1.8	3.3	1.3	2.4	2.1
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	1.6	2.2	3.3	1.3	1.6	1.2
平均	13.0	12.3	11.3	11.7	12.8	11.8

※全体値が高い順に表示

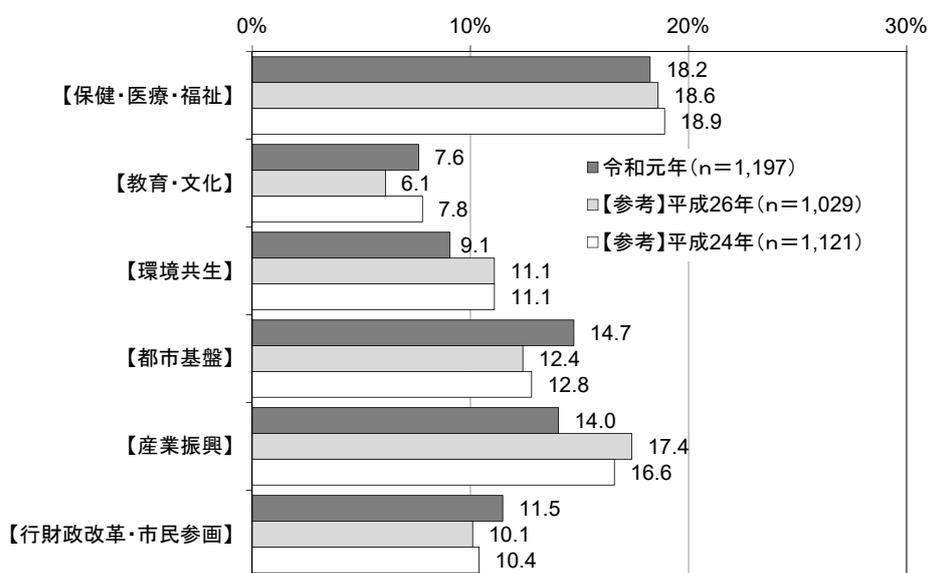
※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

※濃色網掛け表示は最も高い値、淡色網掛け表示は次いで高い値

- 政策分野別で要望が最も高いのは「保健・医療・福祉」、最も低いのは「教育・文化」
- 過去2回の調査も同様の傾向

33項目について、第2次総合計画における6つの政策分野の平均※を見ると、「保健・医療・福祉」(18.2%)が最も高く、次いで「都市基盤」(14.7%)、「産業振興」(14.0%)となっています。

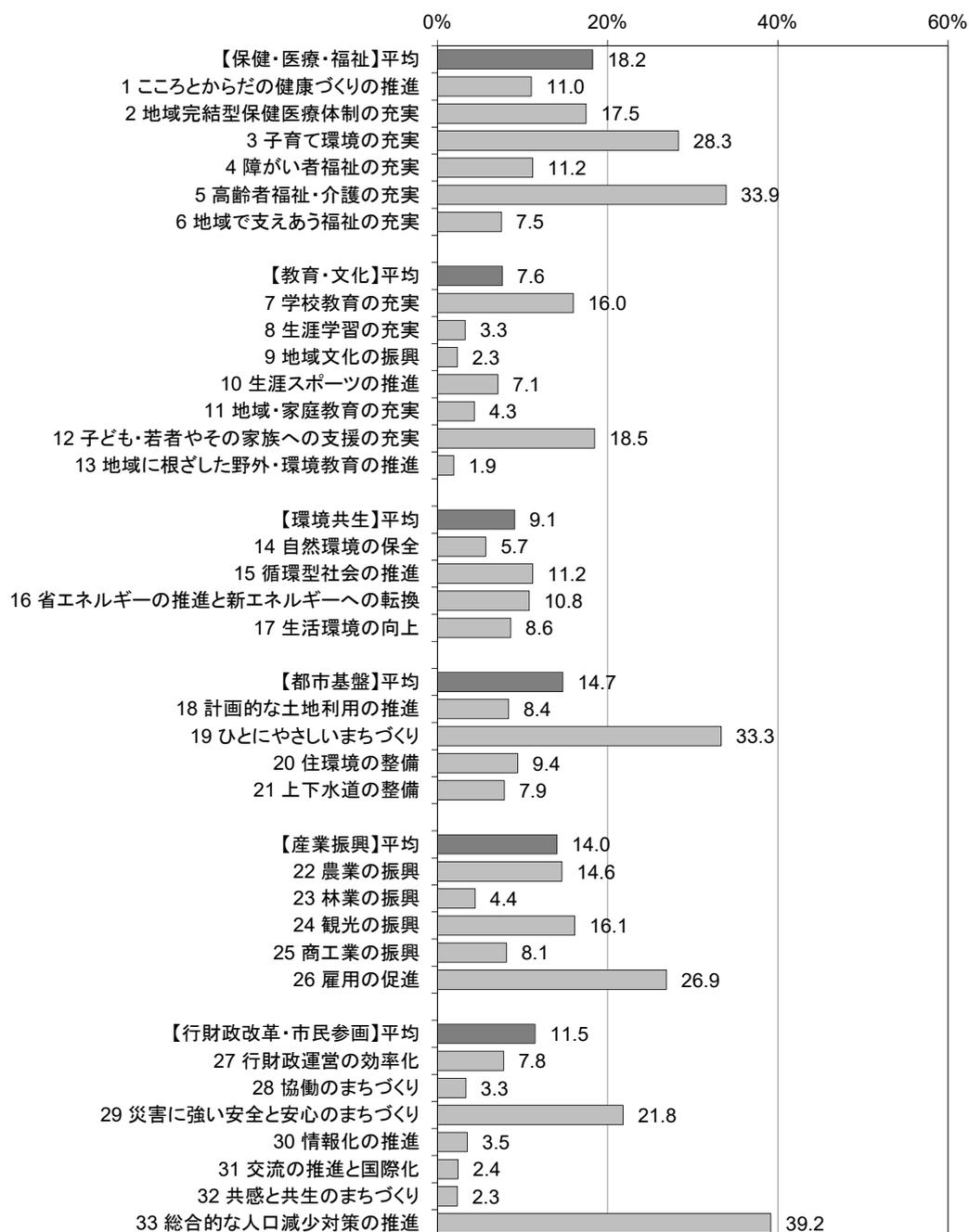
過去の調査とは項目によって項目名の表現が大きく異なるため、参考として見てみると、政策分野別の値の順位はいずれの年も「保健・医療・福祉」が最も高く、「教育・文化」が最も低くなっています。



※政策別に分類し、分類ごとに全値を足し合わせ、項目数で除した値  
 前回、前々回の値は、本調査とは項目数や項目内容が異なるため、本調査の項目に合わせて再集計  
 ※第2次総合計画における表示順に表示

今後力を入れて取り組むべきこと (政策分野別 経年比較)

各政策に分類される項目それぞれの値を見ると、「教育・文化」「環境共生」では特に高い項目は見られず、いずれも2割未満となっています。



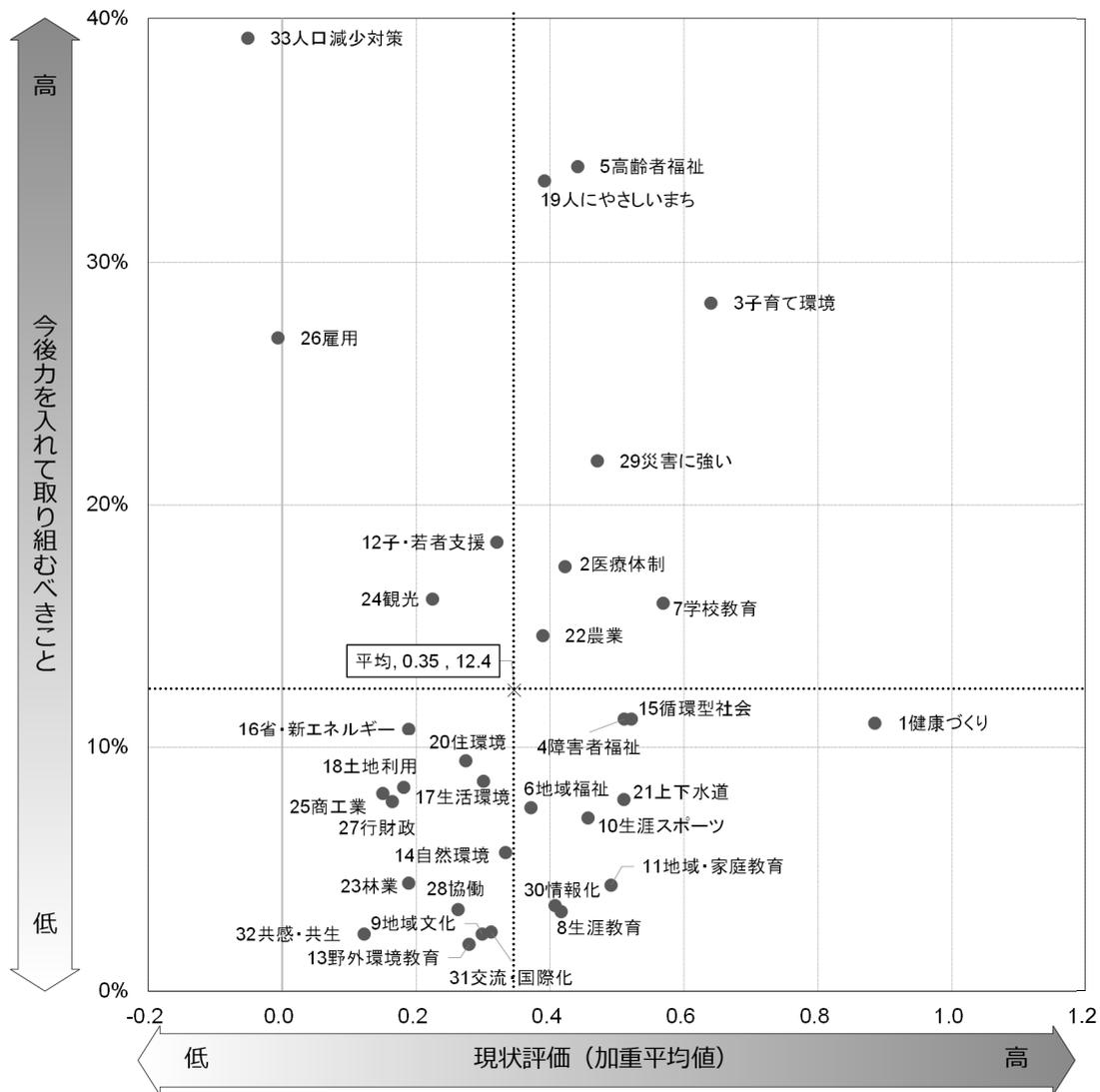
※【 】内は政策分野名

※項目名冒頭の数字は調査時の項目番号

今後力を入れて取り組むべきこと（政策分野別項目）

●「雇用の促進」「総合的な人口減少対策」が強く求められている

問1「まちづくりの現状評価」と問2「今後力を入れて取り組むべきこと」を合わせて見てみると、33項目は概ね以下の5つに分類できます。



※図中の各項目は表現を省略して表示

まちづくりの「現状評価」(加重平均値)と「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係(全33項目)

① 高評価・高要望： 現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

現状の取組が高く評価されており、現在の取組をさらに推進することが求められています。特に以下の項目がこれに該当すると考えられます。

項 目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
3 子育て環境の充実	0.64	28.3

② 早急な対応が必要： 現状評価【低】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

現状の取組の評価が低く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性が強く認識されており、早急な改善・充実が求められています。特に以下の項目がこれに該当すると考えられます。

項 目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
26 雇用の促進	-0.01	26.9
33 総合的な人口減少対策の推進	-0.05	39.2

③ 低評価・低要望： 現状評価【低】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

現状の取組の評価が低く、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性もあまり強く認識されていません。必要性の周知を含めた、中・長期的視点による施策の見直しが求められています。特に以下の項目がこれに該当すると考えられます。

項 目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
32 共感と共生のまちづくり	0.12	2.3

④ 現状維持： 現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

現状の取組が高く評価されており、今後力を入れて取り組むべきこととしての重要性はあまり強く認識されていません。現状の取組を維持しつつ、必要な見直しやさらなる周知を進めることが求められています。特に該当する項目は見られません。

⑤ 上記以外の項目： 現状評価【中】または今後力を入れて取り組むべきこと【中】

現状の取組が一定の評価を得ている、または今後力を入れて取り組むべきこととして重要性がある程度認識されています。

現状評価と今後力を入れて取り組むべきことの関係から、さらに以下の 3 タイプに分類できます。

1) 現状評価【高】×今後力を入れて取り組むべきこと【中】

項目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
1 ことろとからだの健康づくりの推進	0.89	11.0

2) 現状評価【中】×今後力を入れて取り組むべきこと【高】

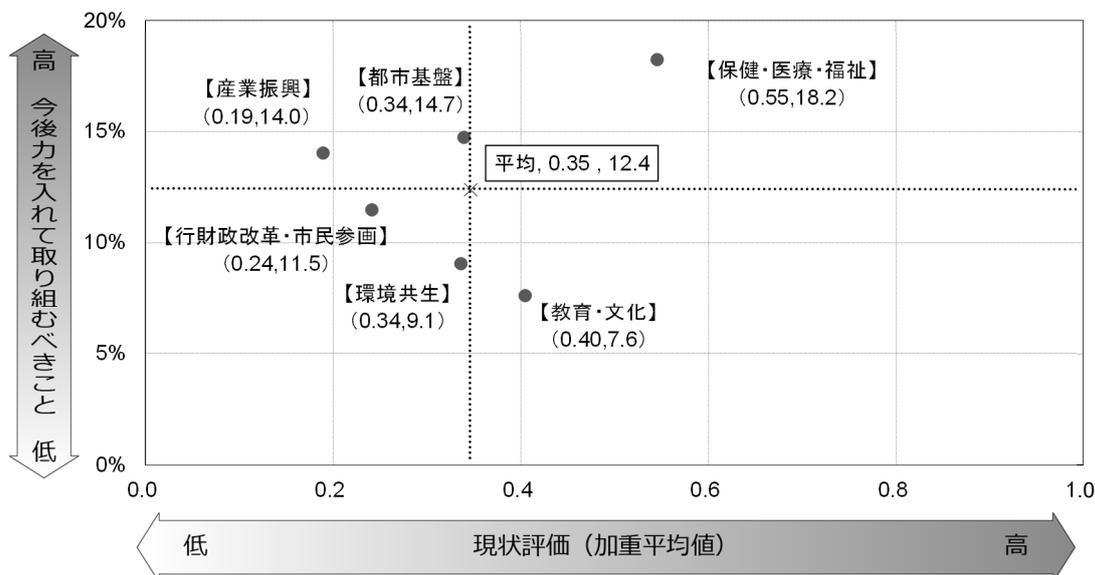
項目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
5 高齢者福祉・介護の充実	0.44	33.9
19 ひとにやさしいまちづくり	0.39	33.3
29 災害に強い安全と安心のまちづくり	0.47	21.8

3) 現状評価【中】×今後力を入れて取り組むべきこと【低】

項目	現状評価 (加重平均値)	今後取り組む べきこと(%)
9 地域文化の振興	0.30	2.3
13 地域に根ざした野外・環境教育の推進	0.28	1.9
31 交流の推進と国際化	0.31	2.4

問1「まちづくりの現状評価」と問2「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係について、政策分野別に整理します。

下図は、「現状評価」については、該当する各項目の加重平均値の平均、「今後力を入れて取り組むべきこと」については、各項目の割合の平均を用い、政策分野ごとにプロットしたものです。



まちづくりの「現状評価」(加重平均値)と「今後力を入れて取り組むべきこと」の関係 (政策分野別)

これにより、政策分野ごとに概ね以下の傾向を指摘できます。

保健・医療・福祉	現状の取組が高く評価されており、取組をさらに推進することが強く求められている。
教育・文化	現状の取組が一定の評価を得ているが、今後取り組むべきこととしての重要性はあまり強く認識されていない。現状の取組を維持しつつ、必要性の周知や施策の中・長期的視点による見直しが求められている。
環境共生	現状の取組の評価があまり高くなく、今後取り組むべきこととして重要性もあまり強く認識されていない。必要性の周知や、中・長期的視点による見直しが求められている。
都市基盤	現状の取組の評価はあまり高くないものの、今後取り組むべきこととしての重要性が比較的強く認識されている。現在よりも強い施策展開やその周知が求められている。
産業振興	現状の取組の評価が低く、今後取り組むべきこととしての重要性が強く認識されている。現在の取組の早急な見直しを踏まえ、現在よりも強い施策展開やその周知が求められている。
行財政改革・市民参画	現状の取組の評価が低く、今後取り組むべきこととしての重要性もあまり強く認識されていない。現在の取組の見直し、必要性の周知を含めた新たな施策展開が求められている。